

## 令和5年度事業報告

令和元年度に発生し、約3年間にわたって感染爆発を繰り返し地域の暮らしに多大な影響を与えた新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種や治療薬開発などにより令和5年5月に5類感染症に移行され、社会経済も徐々に感染前の状況に回復しつつあります。当センターの事業実績においても、年間の契約金額は対前年比8.8%増の44,477,080円となりました。この主な要因は、「個人・家庭」「独自事業」双方ともに14.5%の増となっており、公共も2.2%の増という状況でした。コロナ前の令和元年度の契約金額との比較では0.8%の増ということでわずかに上回る状況となっています。コロナの5類移行に伴う人の動きによる影響も大きく、総合社会教育文化施設関連の就業や、独自事業の五平餅販売のイベント参加による売上増も要因となっています。また、令和5年10月からのインボイス制度施行による消費税負担増への対応のため事務費を10%から12%へ改定した影響も出ているものと思われます。

過疎・高齢化に悩む状況下にあって、会員確保は依然として厳しい状況ではありますが、150人という目標を掲げ会員、役員、事務局が一丸となって勧誘活動を行った結果、令和6年3月末現在で152人（対前年比4人増）となり目標を達成することができました。

当法人の運営については、配分金に伴う事務費収入と国並びに町の補助金を基盤として事業を展開していますが、国、町とも財政事情が厳しい現状において、補助事業の見直しや補助金削減が求められる中、シルバー事業に対し厚いご理解のもと補助金の交付をいただきました。

会員は様々な場所で、色々な就業をしています。会員の健康と安全を守るため、機会を通じ安全就業意識の向上を目指すとともに、安全適正就業委員会の開催や安全巡回パトロールの実施、作業機器の安全利用にかかる講習会の開催（整枝講習会・剪定講習会）などを行い事故の未然防止に努めた結果飛び石事故1件にとどまりました。今後も安全意識の徹底を図っていきます。

シルバー人材センター事業は、地域の高年齢者に就業機会の確保・提供を通じて地域社会の活性化に寄与することを目的としています。引き続き過疎や少子高齢化に加え、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症対策も含め、会員の安全に十分配慮しながら、地域に貢献していくという目的の達成のため、会員の相互協力のもと会員・役員・事務局一丸となって事業の推進に努力してまいります。

### 令和5年度における事業実績

#### 1 会員の拡大と就業機会の開拓、就業率の向上

会員の増加を目指し、理事会専門委員会の「会員・業務委員会」と「総務委員会」を各2回開催し会員拡大策と就業開拓方法等について検討しました。それに伴い、会員募

集チラシを作成し町内へ回覧配布するほか、会員募集広告入りティッシュの行政機関・金融機関等への配置の継続や、とうえいチャンネルへの募集広告の掲載を行いました。

また、会員の皆さんによる声掛けや、役員事務局の働きかけによる高齢者の特性に応じた職種での入会の勧めなどにより、令和6年3月末で対前年比4名増の152名の会員数を確保することができました。

一方で会員の減少を食い止める方策として、ゴールド会員制度を導入しました。このゴールド会員制度は、実質上令和6年度からの会員数減少抑制に効果が期待されます。

## 2 独自事業を推進

五平餅・喫茶・そば打ち・農産物販売を継続しました。そば打ちは、JA直売所の都合により8月から10月まで出荷を一時休止していたものの、令和2年度から4年度まで発注キャンセルや購入客の低迷などのコロナ禍での影響も回復傾向にあり、近隣の観光イベントなどへの参加も増加したことなど、独自事業の契約金額は対前年比14.5%増の16,153,814円となりました。

また、5年度中に実施した、理事会の専門委員会において「なめこ栽培」の提案があり、次年度の新事業として試行することになりました。

## 3 生活・家事援助サービスを推進

高齢世帯や病気療養中の方などの日常生活での困りごとに対し、シルバー人材センターの会員が家事や身の回りなどを手助けするものですが、実績としてはペンキ塗りなど家屋の維持作業や家の周りの除草や農作業の補助、粗大ごみの片付けなどの業務が引き続き多くなっています。

## 4 会員の就業意識・技能の習得

会員の持てる技術の向上とより高い技術習得を図るために、技能の卓越したベテラン会員の指導による茶の整枝講習会と剪定講習会を実施し、未経験者も含めた技術の習得を図りました。

## 5 高齢者活用現役世代雇用サポート事業の推進

人手不足分野や現役世代を支える分野での就業促進のため、請負や委任になじまない就労の派遣への切替のチェックを行い、さらに就業を拡大するための取組を各種団体に働きかけました。

## 6 労働者派遣事業・職業紹介事業への取り組み

労働者派遣事業への取り組みを行いましたが、実績はありませんでした。派遣元事業主である愛知県シルバー人材センター連合会と連携し、適切な制度運用のもと派遣事業を運営しています。

職業紹介事業につきましては、その実施事務所として責任者を配置し、臨時的かつ短期的又は軽易な業務にかかるもので請負等以外の業務を対象として対応してきましたが、本年度の該当はありませんでした。

## 7 安全適正就業・健康管理

安全就業と健康管理の重要性を会員に周知し、安全・適正就業パトロールを実施しましたが、今年度は1件の損害賠償事案が発生したため、発生状況をしっかり検証し、今後の安全管理体制の強化を徹底していきます。

また、就業会員の健康管理面では、温暖化の進行による酷暑下での作業の危険性を考慮し、就業会員にはこまめな休憩を促すとともに、熱中症見舞金制度にも加入し万全を期しています。

## 8 ボランティア活動の実施

地域班ごとに年4回街頭に立ち、交通安全週間に合わせて啓発を行い、211人の会員の参加を見ました。

## 9 指定管理事業

令和3年度から受託した、総合社会教育文化施設の指定管理の最終年となりましたが、指定管理協定に基づき適切に管理を行いました。新型コロナウイルス感染症は5類に移行したものの、感染の脅威は依然としてあるため、手指消毒器具の設置や宿泊者数調整などの感染対策は継続しており、利用者の安全・安心感の向上に努めました。施設利用者については、令和5年度の累計の施設利用者数が対前年比3,402人増(12.0%増)の31,709人となりました。

## 10 組織の強化

行政機関や企業、諸団体との連携・協力を努めるとともに、愛知県シルバー人材センター連合会とも連絡を密にしながら、組織の強化に努めました。また、事務局体制において事務局長と指導員がそれぞれ交代しました。

フリーランス法の施行にかかるシルバー事業契約の見直しに伴い、Web上への規約公開が必要となることから、ホームページを開設しました。今後東栄町シルバー人材センターのPR、会員募集も含めて幅広く活用していきます。